

5日で5000枚の約束。

災害時に、全国の畳店から避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクト。

⊕ 被災地の畳店が、全国の仲間から避難所に敷く畳を受け取るプロジェクト。

tataminoyakusoku.net

5000枚の約束



vol.003

[Topic] 02-05. REPORT | 熊本での活動 06-09. ACTION | 協定の締結やイベント参加 10.これまでの活動 11.FOCUS | 特別対談 vol.2 12.協定締結自治体一覧



畳をお届けした保育園の様子。(写真は神戸新聞より提供いただきました。)

REPORT

[ご報告]



熊本県内の避難所 に6,206枚の畳をお届け しました。

2016年4月14日に発生した「平成28年熊本地震」。15日夜にはプロジェクトメンバーが現地入りし、10市町村約80ヵ所の避難所を巡回。その際、各避難所の運営担当の方と打ち合わせを行い、畳の必要性の確認とお届けする枚数のご提案をさせていただきました。以降、19日の益城町への第1便からスタートし、全国から各地の避難所へお届けしました。これらの畳が過酷な環境をほんのわずかでも和らげられたならメンバー一同うれしく思います。現地では私たちの活動に対し、役所や自衛隊の方を始め様々な方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

◆熊本の避難所へ畳をお届けするまで。

① 現地視察と畳の枚数の提案



発災後すぐに視察へ。避難所や自治体の担当者の方と打ち合わせを行い、畳の枚数等を提案する。

② 各地の畳店がリレー形式で被災地まで運ぶ



各地域ごとに畳をまとめ、畳店自らがリレー形式で益城町にあるプロジェクトメンバーの倉庫まで運ぶ。

④ 避難所『集約』後の提案も



大きな体育館に新しくできた避難所には、閉鎖された避難所から使われなくなった畳を移設。パーティションが設置される前に畳を敷きつめる。

③ しっかりと避難所まで届ける



通常より軽い畳をお届けしているので避難されている方も協力してください。
←写真(右側)は、神戸新聞に提供いただきました。

[2016.04.14] 熊本県熊本地方を震央とするマグニチュード6.5の地震(前震)が発生、熊本県益城町では震度7を観測。

[2016.04.15]
 15:00 前田豊製作所(以下、前田)と植村豊(以下、植村)が、現地調査のため兵庫を出発。道中、熊本市と防災協定締結依頼中だった熊本倉崎商店(以下、倉崎商店)に連絡。熊本市役所担当者の連絡先を確認、電話。現地調査に行くことを報告。先方から「協定を締結していないのにすみません、有り難いです」と。
 たたみ工房福島(以下、福島)と電話。益城町とのコンタクトをとってもらうように依頼。福島が何度もコンタクトを試みるが繋がらない。福島は隣町で直接の知り合いがならず、町は混乱状態。前田知人の友人が益城町の職員だと分かり、連絡するも繋がらない。
 20:00 福島が益城町とコンタクトが取れたが、報道対応で多忙のためのちほどと言われる。
 21:00 福島から益城町の担当者に連絡。まだ報道対応。
 21:30 前田から益城町の担当者に電話。まだ報道対応。
 22:00 前田から益城町の担当者に電話。折り返すとと言われる。その後連絡なし。
 23:00 熊本へ入り、倉崎商店と翌日の行動打ち合わせ。

[2016.04.16]
 01:30 本震発災。大きな揺れ。信号の停電や、道路も落下物で危険。
 02:30 持参のテントを張る。以降余震が続く。
 06:30 倉崎商店から連絡あり。家と会社がかなりの被害。午後からの合流となる。
 07:00 避難所訪問。五福小学校、一新小学校、壺川小学校、熊本県立体育館を訪問。続いて熊本市の担当者を訪問。各避難所毎に、詳細を説明した上で打ち合わせをすること。届ける枚数については、あくまでもプロジェクトとしての判断とすることを確認。
 続いて、東町小学校、高木保育園、砂取小学校、熊本市総合体育館、帯山中学校を訪問。高木保育園は被害がひどく、園児を預かれない状態なので役場隣のコミュニティセンターに移動。持参していた量の40枚のうち34枚をお届けする。

[2016.04.17] (午前)
 ・一新小学校:100枚を約束。給水待ちに長蛇。
 ・五福小学校:100枚を約束。こども給水に長蛇。2~3時間並んでいる人も。
 ・壺川小学校:量が必要な状況だったが長期化するかなど利用後の対応の関係で諦められる。
 ・熊本県立体育館:一時避難所であるので長期化はない、不要とのこと。県の建物なのだが、避難所運営は熊本市ということが、量の受け入れについてはなかなか難しい問題かも。
 ・東町小学校:100枚を約束。近くの避難所になっている小学校を教えてください。
 ・砂取小学校:100枚を約束。
 ・熊本市立体育館:100枚を約束。
 ・画図小学校:100枚を約束。
 ・尾ノ上小学校:100枚を約束。(後に電話をいただく。やはり利用後の対応の関係でキャンセル。)
 ・桜木小学校:連絡します、とのこと。
 ・健郡小学校:100枚を約束(20枚×5教室)。体育館の被害がひどく、教室が避難所。
 昼前に、震源地の益城町役場の担当者とやっと連絡が取れる。昨日も付近まで来て連絡をとっていたが繋がらず。役場機能が移転された益城町保健福祉センターへ。

[同日] (午後)
 益城町保健福祉センターに到着。被害が大きいと報道されており、支援物資は多く来ていると聞いていたが、このセンターにもたくさんの避難者がおられ炊き出しに長蛇の列。「豊屋さんに見ていただいた方が枚数なども確かでしょう」と各避難所を回ることを承認をいただく。避難所とその所在地を教えてください。利用後の対応については町がしますとのこと。100枚を約束。益城町保健福祉センターに教えてもらった、交流センターと併設の総合体育館へ。
 道路、建物の被害がひどく、通行止めもあり、途中で車を置き約1キロ徒歩にて現地へ。
 ・交流センター:300枚を約束。
 ・総合体育館:450枚を約束。
 ・広安小学校:60枚を約束。体育館の被害がひどく、教室に幕張り。
 ・広安西小学校:100枚を約束。
 あと2つの小学校も教えてもらっていたが、あまりの渋滞、遠回りに先が見えず訪問を断念...

[2016.04.18]
 集積場所が決まっておらず、一旦熊本を離れ、広島へ移動。山口・広島・岡山の量を積み込み、再び熊本へ戻る。

[2016.04.19]
 益城町の避難所3カ所に計329枚をお届けする。

[2016.04.21]
 関川豊商店が加わり避難所調査を継続。公民館2カ所を下見。現地のメンバー以外の量店とも協力体制を取ることができ、熊本市の避難所7カ所に計590枚をお届けする。

[2016.04.22]
 南阿蘇村へ提案に向かう。ほぼ決定に近いが回答は後日とのこと。
 阿蘇市へ移動。市の担当者から避難所の状況を見て回ることを承諾いただく。9カ所の避難所を訪問。
 21:00 阿蘇市役所に戻り、報告と打ち合わせ。

[2016.04.23]
 岡部商事 益城倉庫を集積場所として利用することに。来週からの運送や配送の流れを確認。

[2016.04.25]
 石川・富山・福井・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪のメンバーが製作した量、計1,100枚(4tトラック3台)が到着。宮崎県メンバーが搬入の手伝いで現地入り。
 熊本市の避難所7カ所に計400枚、宇土市の避難所1カ所に計300枚、御船町の避難所1カ所に計100枚をお届けする。
 当プロジェクトと協定を締結している神戸市に協力体制をとっていただく。トラック協会への依頼、さらに同市が運送費についてもご負担くださった。

[2016.04.26]
 北陸・東海・中部・関西のメンバーが現地に集合。大津市の避難所1カ所に計400枚、甲佐町の避難所7カ所に計400枚、熊本市の避難所3カ所に計500枚、阿蘇市の避難所2カ所に計300枚をお届けする。

[2016.04.28]
 長野・山梨・神奈川のメンバーが製作した量に到着。宇土市の避難所3カ所に計750枚をお届けする。長崎から避難所に直接持ち込みでお届けする。

[2016.04.29]
 昨日から引き続き、四国のメンバーが製作した量を宇土市の避難所2カ所に計250枚をお届けする。九州自動車道が全線開通。

[2016.05.02]
 宇城市の避難所2カ所に計584枚、熊本市の避難所1カ所に計100枚をお届けする。

[2016.05.03]
 熊本市の避難所2カ所に計500枚をお届けする。

[2016.05.09]
 益城町総合体育館から1,200枚の量の要請連絡をいただく。発災当初より継続的に打ち合わせをしていたが、施設の損傷が大きくなかなか決まらなかった。天井の補修ができ安全が確保されたとのこと。

[2016.05.10]
 益城町総合体育館管理会社のYMCAの担当者に連絡。他の避難所から400名の方が移って来られるとの情報。閉鎖された避難所からの量の移設を提案する。

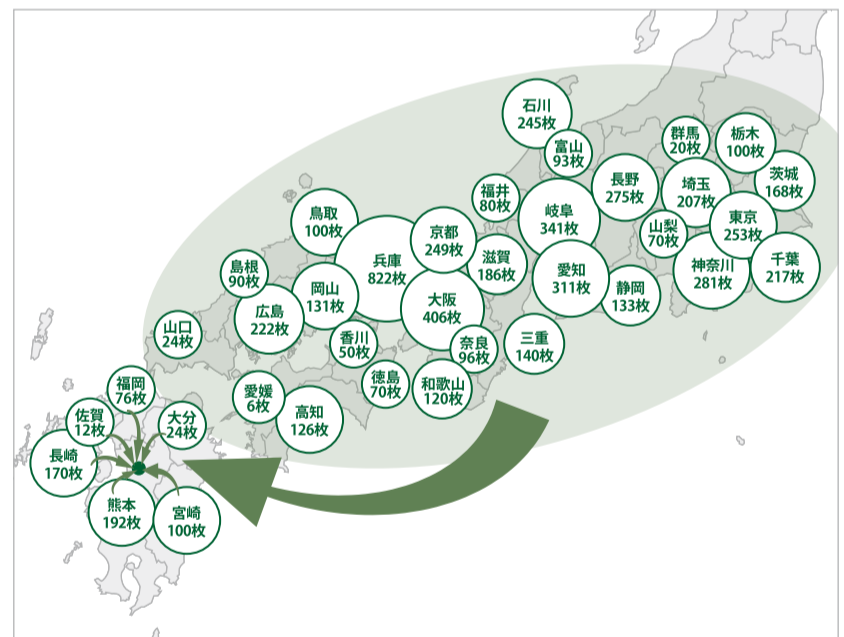
[2016.05.12]
 9カ所の避難所へ量の利用状況の確認にうかがう。避難者が引き続き増えているところもあり、廊下スペースで避難されている方に優先的に配布しているとのこと。

[2016.05.13]
 引き続き、利用状況の確認。不要になっている量があれば、事情を説明して移設の了承をいただく。移設に関しては各担当者から「出来る限り有効に利用してください。」と。

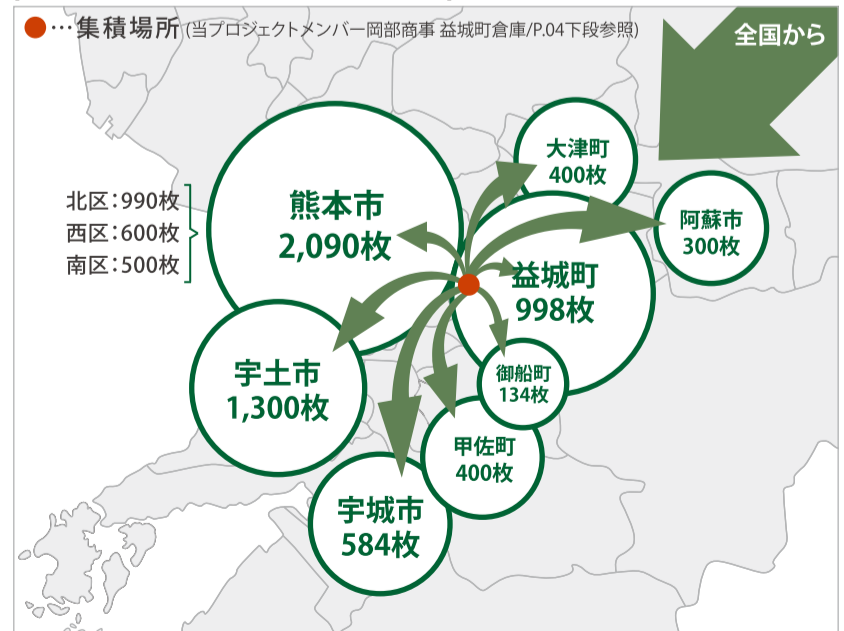
[2016.05.16]
 11:00 益城町総合体育館へ量400枚を搬入。うち300枚は大津市の避難所より移設。

[2016.05.17]
 引き続き、益城町総合体育館に搬入。富山・石川・岐阜・滋賀・京都・和歌山・大阪・兵庫・岡山からの569枚、甲佐町の避難所からの移設分174枚をお届けする。
 要請いただいた1,200枚には至らなかったが、2日間で計1,143枚の量をお届けさせていただく。

[全国の量店から熊本へ]



[全国からの量を熊本の集積場所から各市町村へ]



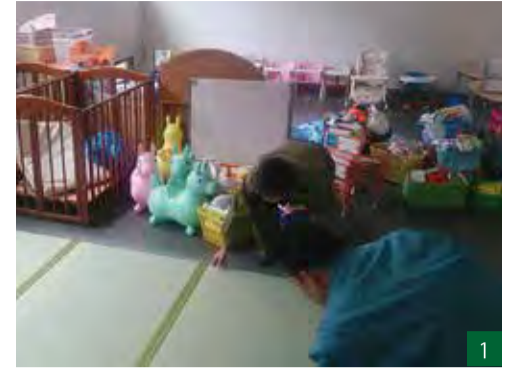
※新しく開設された避難スペース(益城町総合体育館大ホール)に、大津町・甲佐町から計474枚の移設も行う。



御船町の役場に連絡を取ると、高木保育園が使えない状態で仮設になっているとのこと。急ぎよ量をお届けしました。やはり県外の方がいきなり届けるというのは現場の混乱もあり理解されるのは難しい。(写真1)

量をお届けした後も、定期的に避難所の状況を確認に行ったのですが、安全でリラックスできる床として使っていただけていました。2ヶ月後の6月には記録的な大雨が続き、湿気など衛生面が気になってはいたんですが、エアコン設備や風通しもあり問題ありませんでした。保育園では元気な園児の姿が見られて良かったです。

倉崎 保広 [熊本市 倉崎商店(株)]



益城町までは橋が崩れていることもあり、混むだろうと予想。本来は40～50分で行けるところ、4時間前には八代を出発しました。全国の量店からの量を自分の手で受け取りたいと思って向かいました。

田淵 稔 [八代市 イ草農家]



私自身の工場が被災し、避難所への搬入しか活動できませんでしたが、熊本の地域があつての自分たちの仕事ということで、地域に恩返しをしたいという気持ちで動きました。

福島 潤一郎 [御船町 (株)たたみ工房福島]



消防団時代に役場に行っていたこともあり、自分がこのプロジェクトの活動内容を伝えるとすぐに理解してもらえました。

竹村 浩二 [甲佐町 竹村量店]



SNSで量が必要かを投稿したら、次々に拡散されてどんどん情報が集まってきました。もっともっと SNS を活用していきたいですね。

村田 至 [宇土市 (合)村田量工業]



— 「平成28年 熊本地震」での活動を考える —

地元の量店とイ草農家はこう動いた。

自身が被災しながらも、全国の仲間からの量を受け取り、避難所まで届ける。お届けした避難所にその後も継続的に訪問し、ご利用状況を確認する。現場で見えた今後の課題について話を聞いた。



市役所の方が昔からの知り合いだったこともあり、このプロジェクトのことをすぐに理解してもらえました。

畑野 泰人 [宇城市 イ草農家]



災害が起こる前の段階でこのプロジェクトのことをもっと知ってもらえれば、よりスムーズに動けるんじゃないでしょうか。

高尾 和宏 [熊本市 (有)高尾量店]



メンバー外の量店にも声をかけて、最終的に50人程が集まり、そのおかげで約500枚の量を1時間もかからず搬入することができたんです。(写真2)

里永 光司 [宇城市 里永製畳]



益城町の自社の倉庫を集積場所として提供。(写真3)

倉崎商店から場所を貸してほしいと連絡があり、益城町にあるうちの倉庫はダメージが少なかったのですぐに承諾しました。こういった一大事の時にじっとしているのもおかしな話ですし、そんな情けない話はないなと。うちだからできることはやりたいなと思って行動させていただきました。

岡部 龍太郎 [八代市(本社) 岡部商事]

お届けさせていただいた畳の、5ヶ月後の様子をうかがいました。

避難所にお届けした畳に何か問題がないか、プロジェクトメンバーが畳を送った後も実際に訪問して確認します。本当に避難所のためになっているのか…確認と改善を。畳を送って終わりにならないための大切な活動です。

熊本市役所 (総括審議員 兼 総合政策部長)

本当に無くてはならないものでした。運送費を市が負担しても良いほどです。避難所の移設の際も「その場所には畳があります。」とアウンスしたこともあります。

阿蘇市役所 (市民福祉課 課長)

ブルーシートだけでは暑さをしのげなくて、畳1枚あるだけで快適でした。利用後の畳も有難く小学校で保管させていただいています。

宇土市役所 (元松市長、総務部 部長)

“畳＝重い”というイメージでしたが、避難所用に軽く作られていて驚きました。利用後の畳は網津の仮役場でも利用し、今は畳の上で会議をしています。

宇城市役所 (総務部 次長)

避難者がいなくなった避難所の畳は、他の避難所へ移設し、どの避難所でも本当に重宝しました。

各避難所のご担当者からコメントをいただきました。

幸田公民館 (施設管理者)

特に玄関ホールなどは固い床だったので、畳は腰にじわつと優しく有難かったです。避難所閉鎖後は隣接する児童館に畳を敷いて利用させていただいています。

高木保育園 (園長先生)

今でもほとんどのスペースを畳敷きにしていて、とても重宝しています。あと1年半はこの仮設保育園にいますので、このまま有難く利用させていただきます。

広安西小学校 (校長先生)

避難生活が長期化して困っていたところに畳を届けていただき助かりました。衛生的にも新しい畳と香りが有難かったです。

一新小学校 (校長先生)

学校が始まってからも80名くらいの避難者がいて、家族ごとのエリアを隔てる意味でも畳が役に立ちました。



熊本地震の現場から

地元の人間が被災者を支援する意味。

<話し手>

公益財団法人熊本YMCA 災害対策本部
YMCA益城ボランティアセンター長・企画部長 秋寄 光輝さん

震災直後1,500人を超える方々が避難されていた益城町総合体育館。2016年09月30日現在も約200人の方々が避難を余儀なくされていました。避難所の運営をされているYMCAの秋寄(あきよせ)さんへお話をうかがいました。

パニック状態の中、様々なボランティア団体の対応に苦労しました。被災後は、本当にいろいろなボランティア団体から来て、とても良い団体もいらつしやれば、ここで活動しているように写真だけ撮って募金を集めようとするような団体もいました。他の避難所から聞いた話では後日、ボランティア団体の受け入れは、事前連絡があるかどうか、自分たちの考えを押し付けないかなど、私たちが感じたルールにのっとって判断しています。当時は本当にパニック状態でした。こういったところのスタッフ研修などやっつけてはいるんですけど、実際に起こったらやっぱり素人なんです。「支援」って今ここで困っていることをサポートしてくれることであって、ボランティアのみならず、

ことをやる場所ではないんですよ。

支援する側とされる側、それぞれにとつてのタイミングが重要なんです。

おむつがいっぱい届いたことがあって、でもここにいる1500人の避難者のうち、おむつを使う人がどれくらいいるのかを考えると、何千個という数のおむつはと考えると多いですよ。保管だけでもすごいスペースとしてしまう。

本来ならそこに避難者の方のスペースを作れるところを倉庫として使わなければならない。送っていただいた方々の善意はすごく有難いんだけど、それを受け入れてしまうことで現場では逆に混乱してしまう。

ボランティアで受け入れる側も、タイミングがすごく難しいんですよ。そこを考えると、結果的に支援した人たちの気持ちを無駄にってしまうことになる。



当時の様子を話してくださる秋寄さん

地元の人間だからこそ、今どこに何が必要か判断できるんです。

ここで活動しているスタッフは自分も含め、半分以上がこの地域の人間なんです。地元だからこそ、今どこに何が必要かっていうことを判断できるというのは大きいんです。そしてそれはこの誰から入る情報かで判断することにもつながります。

この「5日で5000枚の約束」プロジェクトのことは町の方、役所の方から紹介していただきました。しかも、地元の畳店の方が動いてくださったのはすごく信頼できました。私たちが最短で判断できる、きちんとした信頼できるルートで活動にきてくださった。だから、すごく安心して任せられたわけです。

避難所に畳がなかったら、避難者の体調は変わっていたと思います。

益城という町は、高齢者の方が多く、家に畳がある方もすごく多いんです。畳を敷かせていただけなかったら、きっと避難者の体調は変わっていたと思います。

この長い期間、体育館の固い板間の上に毛布1枚敷いて過ごさなくてはならないのと、畳があるのではものすごく「差」だと思えます。畳ボールベッドももちろんありがたかったです。普段寝たことのない固さにはなかなか馴染めない人も多かったようです。

今6ヶ月が経とうとしていますが、もし畳がなくて、体育館の板間で5か月以上生活してください、という状況だったらと思うと、ちよつと想像できないですね。



発災後の体育館の様子



ACTION || 2015 10月 → 2016 08月



7/22・23に開催された橋本総業株式会社様主催の「みらい市」に出展。

[2015年10月01日～2016年01月19日]



2015年

- 10/01 【茨城県】坂東市と防災協定を締結。 b
- 10/07 【兵庫県】たつの市と防災協定を締結。 e
- 10/18 【京都府】近畿府県合同防災訓練を見学。 a
- 11/01 【兵庫県】高砂市総合防災訓練に参加。 i
- 11/01 【石川県】輪島市総合防災訓練に参加。 q
- 11/01 【滋賀県】甲賀市総合防災訓練に参加。 h
- 11/01 【和歌山県】和歌山市総合防災訓練に参加。 r
- 11/19 【東京都】足立区と防災協定を締結。 k
- 11/22 【茨城県】石岡市総合防災訓練に参加。 j
- 11/24 【東京都】西東京市と防災協定を締結。 t
- 11/25 【静岡県】東伊豆町と防災協定を締結。 c

- 11/26 【島根県】江津市と防災協定を締結。 d
- 11/27 【兵庫県】伊丹市と防災協定を締結。 o
- 11/30 【兵庫県】香美町と防災協定を締結。 l
- 12/02 【岐阜県】下呂市と防災協定を締結。 m
- 12/08 【東京都】立川市と防災協定を締結。 f
- 12/11 【愛知県】名古屋市と防災協定を締結。 s
- 12/14 【大阪府】大阪市と防災協定を締結。 g
- 12/16 【岐阜県】垂井町と防災協定を締結。 p

2016年

- 01/19 【埼玉県】新座市と防災協定を締結。 n

[2016年01月21日～05月18日]



- 01/21 【愛知県】春日井市と防災協定を締結。 a
- 01/24 【兵庫県】伊丹市「20万人市民いたみまるごと防災訓練」に参加。 b
- 01/29 【山口県】下関市と防災協定を締結。 e
- 01/31 【兵庫県】「イザ!美かえる大キャラバン!」に参加。 i
- 02/05 【滋賀県】米原市と防災協定を締結。 c
- 02/22 【東京都】八王子市と防災協定を締結。 d
- 02/29 【愛知県】豊橋市と防災協定を締結。 k
- 03/05 【茨城県】坂東市点検式に出席。 n
- 03/05 【茨城県】梅ヶ丘地区防災訓練に参加。 q
- 03/08 【東京都】「建築・建材展 2016」に出展。 h
- 03/15 【栃木県】芳賀郡茂木町と防災協定を締結。 j
- 03/16 【神奈川県】厚木市と防災協定を締結。 o

- 03/29 【長野県】長野市と防災協定を締結。 p
- 03/29 【三重県】亀山市と防災協定を締結。 l
- 03/30 【神奈川県】平塚市と防災協定を締結。 m
- 03/30 【神奈川県】足柄上郡大井町と防災協定を締結。 f
- 04/21 【千葉県】浦安市と防災協定を締結。 g
- 04/21 【埼玉県】富士見市と防災協定を締結。 r
- 04/22 【埼玉県】所沢市と防災協定を締結。 s
- 05/13 【岐阜県】海津市と防災協定を締結。 t
- 05/16 【栃木県】日光市と防災協定を締結。 o
- 05/18 【東京都】狛江市と防災協定を締結。 p

[2016年05月22日～08月31日]



- 05/22 【兵庫県】「浜キャンプSUMA 2016」に参加。 L
- 05/23 【山梨県】中央市と防災協定を締結。 A
- 05/27 【静岡県】富士宮市と防災協定を締結。 B
- 05/31 【奈良県】田原本町と防災協定を締結。 C
- 06/02 【千葉県】旭市と防災協定を締結。 D
- 06/20 【大阪府】大東市と防災協定を締結。 E
- 06/29 【岐阜県】揖斐郡大野町と防災協定を締結。 F
- 07/06 【高知県】土佐市と防災協定を締結。 G
- 07/08 【千葉県】市川市と防災協定を締結。 H
- 07/13 【山梨県】笛吹市と防災協定を締結。 I
- 07/14 【茨城県】猿島郡五霞町と防災協定を締結。 J
- 07/14 【山梨県】都留市と防災協定を締結。 K

- 07/14 【山梨県】甲府市と防災協定を締結。 M
- 07/19 【広島県】三次市と防災協定を締結。
- 07/22・23 【東京都】「みらい市」に出展。(写真はP.06を参照)
- 08/01 【和歌山県】橋本市と防災協定を締結。
- 08/02 【岐阜県】羽島市と防災協定を締結。 Q
- 08/05 【栃木県】茂木町総合防災訓練に参加。 N
- 08/17 【岐阜県】山県市と防災協定を締結。 T
- 08/18 【静岡県】静岡市と防災協定を締結。 U
- 08/25 【兵庫県】加古川市と防災協定を締結。 O
- 08/28 【奈良県】田原本町総合防災訓練に参加。 P
- 08/28 【山梨県】中央市総合防災訓練に参加。 R
- 08/28 【愛知県】春日井市総合防災訓練に参加。 S
- 08/28 【長野県】長野市総合防災訓練に参加。 V
- 08/28 【岐阜県】羽島市総合防災訓練に参加。 W
- 08/28 【千葉県】市川市総合防災訓練に参加。 X
- 08/29 【岐阜県】高山市と防災協定を締結。 Y
- 08/31 【東京都】日野市と防災協定を締結。 Z

2015年9月以前の活動。

[2014年01月～2015年09月]

- 2014年**
- [01/14] 兵庫県神戸市との防災協定を締結。
 - [01/26] 「イザ!美かえる大キャラバン! 2014」に参加。(JICA 関西、人と防災未来センター)
 - [03/20] 兵庫県豊岡市との防災協定を締結。(豊岡市役所 市長室にて)
 - [03/21] 兵庫県神戸市・垂水区総合防災訓練に参加。
 - [05/11] 「SUMA あそ BOUSAI まな BOUSAI」に参加。(神戸市立若宮小学校にて)
 - [07/16] 和歌山県和歌山市との防災協定を締結。(和歌山市役所にて)
 - [08/12] 新潟県三条市との防災協定を締結。(三条市役所にて)
 - [08/28] 兵庫県西宮市との防災協定を締結。(西宮市役所にて)
 - [09/05] 京都府との防災協定を締結。都道府県としては初の協定締結となりました。
 - [11/05] 兵庫県西宮市総合防災訓練に参加。(西宮市中央体育館)
 - [11/08] 国土交通省主催「大規模津波総合防災訓練」に参加。(和歌山会場)
 - [11/25] **長野県北部地震(最大深度6弱)発災の際、避難所へ計40枚の量をお届けしました。**
11月22日に発災。50名ほどの方が避難されている所へお届けし、お年寄りや体の不自由な方にもお使いいただきました。
 - [12/19] 石川県七尾市との防災協定を締結。
- 2015年**
- [01/23] 滋賀県甲賀市との防災協定を締結。
 - [01/25] 「イザ!美かえる大キャラバン! 2015」に参加。(JICA 関西、人と防災未来センター)
 - [01/30] 滋賀県湖南市との防災協定を締結。
 - [03/17] BERT INTERNATIONAL と防災協定を締結。
 - [03/19] 兵庫県姫路市との防災協定を締結。
 - [03/24] 千葉県館山市との防災協定を締結。
 - [03/25] 千葉県南房総市、鴨川市、鋸南町との防災協定を締結。2市1町合同での調印式。
 - [04/07] 石川県志賀町、白山市との防災協定を締結。
 - [04/23] 岡山県倉敷市との防災協定を締結。
 - [05/14] 兵庫県播磨町との防災協定を締結。(播磨町役場にて)
 - [05/25] 岡山県真庭市との防災協定を締結。
 - [05/31] **口永良部島・新岳の噴火によって屋久島にできた避難所に、140枚の量をお届けしました。(写真①)**
5月29日に発災。量をお届けした際に「雰囲気が一変しました」「量で寝れて良かった」とたくさんのお礼の言葉をいただきました。
 - [06/01] 栃木県宇都宮市との防災協定を締結。
 - [06/16] **内閣官房の政策「国土強靱化」の“民間の取組み事例集”に掲載。**
平成27・28年度と継続して当プロジェクトについて掲載されています。詳しくは http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/
 - [06/30] 兵庫県高砂市との防災協定を締結。
 - [07/08] 山梨県昭和町との防災協定を締結。
 - [07/10] 愛知県豊川市との防災協定を締結。
 - [07/17] 広島県安芸高田市との防災協定を締結。
 - [07/21] 茨城県水戸市との防災協定を締結。
 - [07/25] 神戸のショッピングセンターで量の紙芝居を披露しました。(2日間開催)
 - [07/27] 埼玉県和光市との防災協定を締結。
 - [07/29] 茨城県石岡市との防災協定を締結。
 - [08/04] 石川県矢野郡防災訓練に参加。(石川県矢野郡公民館)
 - [08/06] 岡山県岡山市との防災協定を締結。
 - [08/23] 奈良県奈良市防災訓練に参加。(佐保川小学校)
 - [08/25] 茨城県小美玉市との防災協定を締結。
 - [08/26] 岡山県奈義町との防災協定を締結。
 - [08/27] 石川県輪島市との防災協定を締結。
 - [08/30] 北但大震災90年メモリアル震災総合防災訓練に参加。
 - [08/31] 山梨県昭和町の防災訓練に参加。
 - [09/01] 兵庫県姫路市総合防災訓練の防災訓練に参加。
 - [09/09] **関東・東北豪雨災害時、避難所に量を約200枚お届けしました。(写真②③)**
9月9日に発災。栃木県鹿沼市・茨城県常総市・つくばみらい市の3カ所に避難所が開設され、計217枚をお届けしました。「ありがたいものが来た!」と、県・市職員の方やボランティアの方と一緒に量を搬入していただきました。
 - [09/25] 広島県江田島市との防災協定を締結。
 - [09/26] 岡山県倉敷市総合防災訓練に参加。(岡山県内から4市2町のメンバーが参加)
 - [09/27] 石川県白山市の防災訓練に参加。
 - [09/29] 茨城県かすみがうら市との防災協定を締結。



口永良部島・新岳噴火時の、屋久島の避難所の様子。



関東・東北豪雨災害時、常総市の避難所にて。



関東・東北豪雨災害時、つくばみらい市の避難所にて。

特別対談 vol.2

肥後物産株式会社 × 5日で5000枚の約束。

熊本県八代市にある、国産畳表を扱う肥後物産株式会社様には熊本地震での活動の際に特別なお支援をいただきました。肥後物産株式会社の松永氏と、当プロジェクト事務局長・前田が(地元への)想いを語ります。

《話し手》 肥後物産株式会社 代表取締役社長 松永 賢一氏 5日で5000枚の約束。事務局長 前田 敏康



「全国の畳店さんが、自分の会社がある熊本のために動いてくれている。でも、自分にはなにもできない。すごくありがたかったんです。」(肥後物産株式会社・松永氏)

前田: このあたり(八代市)も被害があったと…

松永: そうですね。でも、やはり熊本に近いところがひどくて。宇城地区とか。このあたりは棟瓦とか鉄筋が入ってないブロック塀が少し。ここは被害といっても熊本側に比べれば少ないです。

前田: イ草農家さんの田んぼの液状化などは?

松永: 海沿いの方は、そういう話を聞きますね。イ草農家でなく他のものを作ってる田んぼが液状化しているというのは聞きました。一部のイ草農家も被害があったかもしれないけど、特別深刻な話っていうのは今のところは聞いていないですね。

前田: 順序逆になりましたが、今回の特別なご支援、本当にありがとうございました。びっくりしました。あれは、4月下旬でしたか。ご連絡いただいて、いきなり入金口座を教えてください。

松永: いえいえ、こちらこそですよ。全国の畳店さんが自分の会社がある熊本のために動いてくれている。でも、自分にはなにもできない。すごくありがたかったです。

前田: 熊本へ畳をみんなで運んでいこうってことで、自前のトラックでリレー運んだりしてたんですが、それだけでは足りなくて、一部運送会社に頼んだりもしました。でも輸送費に関して僕の考えが甘かったところもあって…どうしようかなと思ってたんですけど、本当に大きな援助をいただき、助かりました。

松永: 自前のトラックでリレー輸送ですか。それはすごいですね。

前田: 今回、ありがたいことに一般の方からも連絡をいただいた。このプロジェクトはお金集めの団体ではないので、寄付を募るようなことは考えていなかったんですが、それでもこのプロジェクトのような、目的がシンプルで明確なところに寄付をしたいっていう方が数名いらっしゃって。

松永: なるほど。プロジェクトのみなさんの熱が一般の方にも伝わっているということですね。

前田: 話は変わりますが、肥後物産は国産イ草専門の

ご商売ですね。そのあたりを少し。

松永: 会社の方針として地域の特産品を全国へつとてです。

前田: これまでに安価な中国産も扱おうとは思わなかった?

松永: そこにブレはなかったですね。僕がこの仕事を始めた頃に鹿児島のある農協に2度ほど行かせていただいて。その方針が「故郷の味と気持ちでお付き合い」ということで、地元のを全国に広めて、お付き合いを広げていくという理念。それにすごく感動したんです。私自身も同じ想いで仕事をさせてもらっています。

前田: それって本当に地域貢献ですよ。

松永: うちの会社の理念でもあるんですけど、若い方が夢を持って地元で仕事をしたいっていう、そういう地域をつくらせていきたいという想いが僕自身が強くて。この地域の中に同級生が7人いたんですが、いい仕事はここにもないし、みんな出ていってしまっ。中学校の友達もひとりしか残ってないし、高校の友達はおそらく関西とか関東に出ていってしまっ。これはいけないな。やっぱり夢を持って故郷ですごせるような地域を作りたいですからね。

前田: そうですよ、すごく共感します。

松永: さみしいじゃないですか。当時は小中学校まで遊んだり部活してた仲間が、ひとりしかないなんて。前田: そんな松永社長の想いもあって、熊本のために活動をしている僕たちに援助をってことだったんですね。

松永: そうなんです。本当にうれしかったし、ありがたかったですよ。

前田: ありがとうございます。そうなんです。このプロジェクトの全国の畳店も日ごろから、それぞれの地域でお仕事をさせていただいているわけで、そういう意味で、いざという時には地元のために全国の仲間と動くと。これが原点ですから。



肥後物産株式会社

熊本県八代市にある、国産の畳表を扱う産地問屋。熊本特産の「畳表の良さ」を全国に伝え、畳文化と地域社会の発展に貢献すべく活動している。

【HP】
<http://www.higobussan.com/>

左から肥後物産の西 吉幸氏、松永 賢一氏、当プロジェクト事務局長・前田

◆協定を締結させていただいた自治体一覧 締結順に掲載しています。(2016年8月末日現在)

	自治体	日付
1.	兵庫県神戸市	14/01/14
2.	兵庫県豊岡市	14/03/20
3.	和歌山県和歌山市	14/07/16
4.	新潟県三条市	14/08/12
5.	兵庫県西宮市	14/08/28
6.	京都府	14/09/05
7.	石川県七尾市	14/12/19
8.	滋賀県甲賀市	15/01/23
9.	滋賀県湖南市	15/01/30
10.	兵庫県姫路市	15/03/19
11.	千葉県館山市	15/03/24
12.	千葉県南房総市	15/03/25
13.	千葉県鴨川市	
14.	千葉県鋸南町	
15.	石川県志賀町	15/04/07
16.	石川県白山市	
17.	岡山県倉敷市	15/04/23
18.	兵庫県播磨町	15/05/14
19.	岡山県真庭市	15/05/25
20.	栃木県宇都宮市	15/06/01
21.	兵庫県高砂市	15/06/30
22.	山梨県昭和町	15/07/08
23.	愛知県豊川市	15/07/10
24.	広島県安芸高田市	15/07/17
25.	茨城県水戸市	15/07/21
26.	埼玉県和光市	15/07/27
27.	茨城県石岡市	15/07/29
28.	岡山県岡山市	15/08/06

	自治体	日付
29.	茨城県小美玉市	15/08/25
30.	岡山県奈義町	15/08/26
31.	石川県輪島市	15/08/27
32.	広島県江田島市	15/09/25
33.	茨城県かすみがうら市	15/09/29
34.	茨城県板東市	15/10/01
35.	兵庫県たつの市	15/10/07
36.	東京都足立区	15/11/19
37.	東京都西東京市	15/11/24
38.	静岡県東伊豆町	15/11/25
39.	島根県江津市	15/11/26
40.	兵庫県伊丹市	15/11/27
41.	兵庫県香美町	15/11/30
42.	岐阜県下呂市	15/12/02
43.	東京都立川市	15/12/08
44.	愛知県名古屋市長	15/12/11
45.	大阪府大阪市	15/12/14
46.	岐阜県垂井町	15/12/16
47.	埼玉県新座市	16/01/19
48.	愛知県春日井市	16/01/21
49.	山口県下関市	16/01/29
50.	滋賀県米原市	16/02/05
51.	東京都八王子市	16/02/22
52.	愛知県豊橋市	16/02/29
53.	栃木県芳賀郡茂木町	16/03/15
54.	神奈川県厚木市	16/03/16
55.	長野県長野市	16/03/29
56.	三重県亀山市	

	自治体	日付
57.	神奈川県平塚市	16/03/30
58.	神奈川県足柄上郡大井町	
59.	千葉県浦安市	16/04/21
60.	埼玉県富士見市	
61.	埼玉県所沢市	16/04/22
62.	岐阜県海津市	16/05/13
63.	栃木県日光市	16/05/16
64.	東京都狛江市	16/05/18
65.	山梨県中央市	16/05/23
66.	静岡県富士宮市	16/05/27
67.	奈良県田原本町	16/05/31
68.	千葉県旭市	16/06/02
69.	大阪府大東市	16/06/20
70.	岐阜県揖斐郡大野町	16/06/29
71.	高知県土佐市	16/07/06
72.	千葉縣市川市	16/07/08
73.	山梨県笛吹市	16/07/13
74.	茨城県猿島郡五霞町	16/07/14
75.	山梨県都留市	
76.	山梨県甲府市	16/07/19
77.	広島県三次市	
78.	和歌山県橋本市	16/08/01
79.	岐阜県羽島市	16/08/02
80.	岐阜県山県市	16/08/17
81.	静岡県静岡市	16/08/18
82.	兵庫県加古川市	16/08/25
83.	岐阜県高山市	16/08/29
84.	東京都日野市	16/08/31

最後に

支援される立場になって 考えるということ。



2016年4月の熊本地震。時間の経過に伴って、学校の体育館は授業再開のため避難所ではなくなり、代わりに大きな総合体育館などが環境を整備して新たに避難者を受け入れることになる。このことをぼくたちは「避難所を集約する」と言っていました。多くの自治体で普通に使われている表現だったんです。▼ところが、9月に訪問させていただいた熊本市役所の方は「市長をはじめ私たちは『避難所を集約』という言葉は使わないようにしています」と。「集約ってどこか事務的で、こちら都合での言い方でしょ」。▼ハッとさせられました。言葉遣いひとつが人間の気持ちの奥の部分を反映するだろうし、その言葉遣いを変えることで気持ちの奥の部分も変わっていく。▼支援される立場になって考える。ぼくたちのプロジェクトは、このことを大切に活動してきました。でも、まだまだのようです。

▼大きな災害が発生すれば、体育館などの施設があつという間に避難所になる。そんな状況で、被災された方が本当に必要なもの、本当に支援が必要なタイミングは、地元の人にしかわからない。P.05の避難所運営スタッフの方(地元の方)のお話をうかがい実感しました。▼でも、ぼくたちのプロジェクトメンバーは全国にいる。いざというときには、本当に必要なものとタイミングを知ることができる。これまで、5日で5000枚の約束は「届ける」プロジェクトでしたが、定義をもうひとつ増やしたいと思います。(表紙参照)

**被災地の量店が、
全国の仲間から避難所に敷く量を受け取るプロジェクト。**

(事務局長・発起人 前田敏康)

CONTACT 当ペーパー・プロジェクトへのご質問やご要望は以下までお願いします。

□ 当プロジェクトとの防災協定について

[関東地区] 東和小川量店 TEL / FAX : 03-3605-6285

[甲信地区] 小澤量工業所 TEL : 055-251-2948 / FAX : 055-251-1177

[近畿地区] 播磨量内装工房株式会社 TEL : 079-430-2230 / FAX : 079-430-2210

[九州地区] 酒井タタミ店 TEL : 0957-63-0673 / FAX : 0957-63-4558

その他の地区については

[事務局] 株式会社前田量製作所 TEL : 078-578-0172 / FAX : 078-578-0173

□ その他のお問い合わせについて

[事務局] 株式会社前田量製作所 TEL : 078-578-0172 / FAX : 078-578-0173

[広報統括] コベルニクスデザイン TEL / FAX:06-6264-5051

<5日で5000枚の約束。プロジェクトメンバー各位>

当プロジェクトのホームページ内、[参加量店専用ページ] ではプロジェクトに関する資料の閲覧やダウンロードが可能です。



member

[プロジェクト参加畳店]

"5日で5000枚の約束。" は下記の畳店とともに活動しています。

(※2016年9月末日現在。各都道府県ごとに50音順。)

【 北海道 】(有)関畳店、(株)たたみ工房 柴田 【 青森県 】斎藤畳内装(株)、(有)高森畳工店、つしま畳店 【 岩手県 】阿部たたみ店、大森畳店 【 宮城県 】(株)キツタカ仙台店、齋藤畳店、清水畳店、(株)草新舎、(有)只見工業所、(株)和楽 【 秋田県 】山田たたみ・ふすま店、(有)渡部畳店 【 山形県 】(株)ジャブライズ、(株)たたみの小池、畳屋清兵衛、ムラタ畳店 【 福島県 】かりの畳店、(有)久保木畳店、(株)創成、(有)櫛田畳店 【 新潟県 】今井畳店、茨木畳店、小出畳産業、(有)佐藤畳店、平畳店、高原畳工業、(株)富岡産業、中村畳工業(株)、(有)宮島畳産業、山崎畳店 【 富山県 】稲毛畳店、河合畳店、坂谷製畳店、(有)坂林製畳店、沼田畳内装(株)、畑畳店、村田畳製作所、(有)森製畳 【 石川県 】(有)石川製畳工業、(株)いわさか、(有)オオウラ、(株)大橋畳工業、(株)熊走畳工業所、島内たたみ店、タタミの山科、(有)得能製畳工業、直健畳工業所、藤沢畳工業、(有)松本製畳、水上畳店、三原製畳所、やまや畳店 【 福井県 】(有)朝日室内工業、大嶋畳商店 【 茨城県 】 淡島畳産業、井坂畳店、飯島畳店、(株)イシイ畳リフォーム、入山畳店、大島畳店、きくちたたみてん、(株)関川畳商店、(有)高野好見畳店、(株)九重、穂積畳店、水越畳店、よしや畳店、(有)渡沼畳店 【 栃木県 】石川畳店、宇都宮畳工業(株)、(有)枝製畳、大関畳工業、大橋タタミ(有)、加藤畳店、(有)小堀畳店、こはらざわ畳店、STK 酒井畳工業、佐藤畳店、(有)佐藤畳店、(有)高田畳店、(有)高野畳店、武下英勇畳店、谷口畳店、長塩畳店、(有)星野ほしの畳店、(有)松沢畳店、横山製畳 【 群馬県 】(有)青木製畳、上原インテリア、(有)クローバー畳装、桜井畳店、竹澤畳店、武田畳店 【 埼玉県 】(株)アキモト、(有)アサヌマ、(株)浦光、(有)オオノ畳工業、大川屋畳店、(株)岡田本店、熊谷たたみ店、斉藤畳店、鈴木畳店、(有)セキ畳店、(有)畳ネットオオクボ、熊木畳本店、畳ヤマギシ本店、(有)タナカ、(有)新関商店、(有)真中製畳工業、(有)森田商店 【 千葉県 】青柳畳店、池田畳店、石井製畳、(有)岩瀬、(有)オサダ、小久保畳店、(有)久保木畳店、(有)鳥光畳店、(株)新藤商店 浦安支店、(有)杉浦ホームサービス、たたみセンター・アイテス(有)、長谷川畳店、備後屋畳店、ヒラマ畳工業、(有)広嶋屋、森畳店、(有)谷田部畳工務店、米井畳店 【 東京都 】青木畳店、(株)あなみず、安藤畳店、安藤畳店、石渡畳店、(株)いまい、(有)岩瀬畳店、海老澤畳店、(有)大川畳店、大久保畳店、大倉畳店、加藤畳店、金原畳店、(株)金井畳店、(株)キツタカ、小曾根畳店、(有)小堀、小森谷畳店、(有)佐々木畳店、澤島畳店、(株)セキグチプラネット、高岡屋 常川畳店、東和 小川畳店、葉本畳店、(株)ひさごや畳店、(有)中山製畳店、中山畳店、(株)ナルシマ、野村畳店、橋本畳店、半澤畳店、(有)森たたみ店、矢島畳店、(有)八巻畳工業 【 神奈川県 】池谷畳店、板垣畳内装店、ウスイ住装(株)、(有)内田畳店、小野畳店、柏屋 佐野畳店、坪井畳店、東横製畳 菊名店、佐藤畳店、(有)西澤畳店、(有)新倉畳店、野上畳店、(有)原製畳所、原文畳店、(有)平井畳店、(有)船木畳店、古尾谷畳店、古田畳店、(有)マルコ住総、(株)丸清、三谷たたみ店、森下和装工業(株)、山崎畳店、(株)RUSH ART 清田畳店、(株)和風生活 【 長野県 】飯田畳店、(株)インテック左右田、内田畳製造工業所、小林製畳店、タタミクス、(有)畳と総合インテリアのカサハラ、(株)トータルタタミサービス、(有)半藤畳店、(有)マルヨシ北沢産業、山口畳店、山口畳店 【 山梨県 】青山畳店、上田畳工業所、小澤畳工業所、小尾畳本店、権正畳本店、(有)権正畳店、(有)斎藤畳製作所、塩沢畳店、畳内装丹沢、中沢畳店、深澤畳店、堀田畳製作所、村松畳店、祢津畳店、渡広畳店 【 静岡県 】(株)新海畳店、新谷タタミ店、(株)杉本商店、(株)コクショウ、斎藤畳店、(有)豊利 西村畳店、たたみ工房ときわ、立宿 望月畳店、田中畳工業、坪井畳店、軒村政春畳店、長谷川畳店、(株)松永畳店、松葉畳店、宮原畳店、弓桁畳店 【 岐阜県 】(有)アールエフインクワイアリー、大野製畳(株)、大橋畳店、おおつか畳店、小畑畳店、(株)国枝、(有)たかぎ、高木畳店、畳工房のぐち、中部井上(株)、辻畳店、(有)ハヤシ製畳、樋口たたみ店、(有)成瀬製畳、松井畳店、(有)松葉製畳、三宅畳店、(有)三宅製畳、名和畳店、森畳店、山本畳店 【 愛知県 】(資)浅井商店、(有)浅井畳店、石黒畳店、(有)及部畳店、(有)川端畳製作所、国際加工(有)、(株)柴田製畳所、スギセイ畳商店、(有)鈴木畳店 平和が丘店、(有)宗宮畳商本店、(有)たたみ総合サービス、畳のツノダ(有)、たたみのマルキン、(有)築山畳店、トータルハウス(株)、中川タタミ店、西川畳産業(株)、二宮畳店、乗本畳店、橋本畳店、(資)菱源畳店、山中製畳(資)、(有)山脇畳店、(有)吉兼畳店、(株)鷲尾畳製作所 三条営業所 【 三重県 】石川畳店、石原畳店、大平畳製造所、田中畳店、中部畳材(株)、平野製畳(株)、(有)堀木畳店、丸澤畳店、横村畳店【 滋賀県 】久田畳店、(株)田村製畳、鳥本製畳(株)、(有)的場たたみ店、山田ため畳店 【 京都府 】蘆田畳店、石井製畳、井ノ口畳店、(株)オザワ、関西畳工業(株)、きぬ川畳店、(株)元禄畳、(有)炭谷、(株)にしむら、沢辺畳店、(株)マツモト、南田畳店、もとやま畳店 【 奈良県 】インテリア平郡、(株)上山商店、織田畳店、(株)塚本畳商店、南たたみ店、(有)村口畳工房 【 大阪府 】うえむら畳商店、上村畳店、(株)大阪川島商店、大阪畳(株)、(株)大西畳店、(株)小池商店、小藪商店、(有)さくらい、(株)澤田商店、タバタ(株)、田伏製畳、田村栄(株)、西田産業(株)、日新製畳(株)、前本畳店、(株)吉金畳商店、八田畳産業、和田清畳工業(有) 【 和歌山県 】岡長商店、和工房、(有)山哲畳商店 【 兵庫県 】浅木畳店、(有)あわとく、伊奈畳店、上野畳(株)、(株)植村畳、(株)ウメタニ、FJホーム(株)、(有)大亀製畳店、大西畳店、奥井畳店、尾西製畳、(有)角新蔵商店、(株)関西キツタカ、近都製畳所、小池畳(有)、小西製畳(株)、(有)頃安畳商店、(株)スガオ、田居畳加工所、高橋畳店、(有)武田商店、但馬畳材(株)、畳の高垣商店、畳のヤスダ、田村畳店、月徳畳店、時友畳商会、(株)ナガサワ、橋本畳店、ハセガワ製畳、花房畳店、林田畳店、播磨畳内装工房(株)、平方畳店、(有)藤原商店、古田畳店、北部畳、(株)前田畳製作所、宮下畳店、森井畳襖店、森岡畳店、(有)森田製畳店、(株)山田畳商店、吉田製畳、渡辺畳店 【 鳥取県 】(株)マツワ 【 島根県 】(有)イダネ畳店、山陰製畳(有)、(有)竹内畳店、(有)比津畳店、松尾畳店 【 岡山県 】(株)赤木製畳、有吉畳店、猪木畳店、(有)池田畳店、石原畳材(有)、大西畳工業、岡製製造所、岡部畳店、亀井タタミ店、河上畳店、古林畳店、清水畳店、高村たたみ店、畳 横佐古商店、(有)ナカシマ建創、中村畳工業(有)、二宮畳店、(有)はないえ畳店、藤田光一本店、藤原畳店、(有)森川製畳所、(有)宗安畳店 【 広島県 】木河畳店、(有)佐藤畳店、新和畳襖店、(有)清木畳装飾、(株)内藤畳店、猫本タタミ工業(株)、広島畳材(株)、向井製畳所、(有)向井製畳所、和ごころ工房、(株)渡邊畳店 【 山口県 】(有)石野畳店、西日本畳(株) 【 徳島県 】(有)杉本商店、高畑畳店、(有)太瀬畳工業、(有)森吉商店 【 高知県 】アオイ畳店、池田畳店、岩井製畳所、大寺畳店、(有)おかぞえ、(株)小栗、岡村畳店、(有)岡村畳製作所、神田商店、渋川畳店、古味たたみ店、本山畳店、畳いけうえ、西村畳製作所、野中久畳店、(有)吉田忠雄商店 【 香川県 】(株)間島畳装飾 【 愛媛県 】(有)高橋国栄畳店 【 大分県 】(有)いのくま畳店、(有)佐藤たたみ工房、二豊製畳(有) 【 福岡県 】岩村畳店、因たたみ店、(有)熊丸畳店、佐野畳屋、(有)柿原産業、柿原畳内装工事(株)、(有)増田商店 【 佐賀県 】青畳工房 古賀畳工業所、中島畳店、(有)中久畳店 【 長崎県 】(株)勝手、酒井タタミ店、たたみの福田、たいら畳店、(有)中山好人商店、(有)ヒロシ畳店 【 宮崎県 】(株)イマムラ、武田畳店、(有)とくどめたたたみ屋、中西たたみ店、(有)にいさか、浜田畳・襖店、丸山畳店 【 熊本県 】(株)秋吉、(資)一期崎畳店、岡部商事(株)、倉崎商店(株)、里永製畳、(有)高尾畳店、竹村畳店、(株)たたみ工房福島、(資)村田畳工業 【 鹿児島県 】(株)小田畳商会、中島タタミ店 【 沖縄県 】たかえす畳店



当プロジェクトの活動は以下の企業のみなさまに支えられています。

KANeKA

カネカケンテック株式会社



萩原株式会社



アキモクボード株式会社



アゼアス株式会社



株式会社カネバ



株式会社 極東産機株式会社



DAIKEN



東海機器工業株式会社

Piso Comodo



株式会社 備後屋



YAMANAKA
山中産業株式会社

大川敷物株式会社	株式会社木村商店	株式会社ケイセイ	高田織物株式会社	トランクトラスト株式会社
トクラテック株式会社	株式会社やまいち			

堅木株式会社	株式会社キビ	株式会社興陽	株式会社備後ムラカミ
--------	--------	--------	------------

株式会社イケヒコ・コーポレーション	株式会社池田貞男商店	株式会社斎藤商店 熊本支店	有限会社鍋屋商店
-------------------	------------	---------------	----------

株式会社阿部製畳	有限会社荒巻豊商店	石亀村上商店	有限会社岩本商店	株式会社大地屋	有限会社恩田商店
かねた屋溪商店	株式会社角勇早川	株式会社クリタ	黒田産業株式会社	光洋マシン	株式会社コバヤシ商事
有限会社佐々井商店	有限会社佐野商店	三栄畳材有限会社	有限会社システムライツ	洲本製紙有限会社	大一商事株式会社
有限会社高橋忠三郎商店	NPO法人たみネット21	株式会社寺本広吉商店	株式会社トクラ	株式会社土倉雄二商店	株式会社中屋商店
西日本内装株式会社	株式会社野村商店	株式会社ハヤシ	有限会社原康之商店	肥後物産株式会社	株式会社廣野商店
株式会社ヤマソウ	山根商店	株式会社横谷			